



良質な環境で育つ 色鮮やかなミニバラ



岐阜の豊かな自然の恩恵を受けて育つ農産物を伝えるシリーズの24回目は、本県産の花の直径が2.3センチのミニバラを栽培している「農事組合法人セントラルローズナーセリー」代表取締役の大西隆さんです。大西さんは1996年に全国で初めてオランダで使われていた生産システムを導入。年間200万鉢のミニバラを生産し、国内シェアは約30%で全国トップ、日本一のミニバラ出荷量を誇ります。売れると直感したミニバラで、有言実行の日本一となった大西さんの挑戦や功績を紹介します。

ミニバラのご購入はこちらから

試行錯誤の末、安定した生産体制を実現

ゼロからバラ栽培を始め海外でミニバラと出会う

本県市で生まれ育った大西さんは、実家が米や柿などを栽培する農家でした。高校は地元岐阜県立高校へ進学。それでも実家の農業を継ぐつもりはなく、海外の国々とビジネスをしたかったと大西さんは話します。高校は園芸コース(当時)で、当時から「花づくりをした。中でもバラは世界に流通しているし、ビジネスとしての将来性や伸びしろがある」と確信していました。

高校卒業後は、兵庫県伊丹市のバラ園で3年間研修。地元に戻り、ゼロからバラ苗の栽培を始めました。バラ苗の栽培を15年間続け、仕事は安定したものの体に負担のかかる作業が多いこともあり、体調を崩してしまいました。農業をやめようと思っていた時に、懇意にしていた元静岡大学教授の故・大川清さんからヨーロッパのバラ栽培を見に行かないかと誘われたのです。渡航先はオランダで、それがミニバラとの出会いとなりました。

オランダでミニバラの鉢植えを目の当たりにして、大西さんは「日本ではまだ誰もやっていない新しいスタイル」と衝撃を受けました。ミニバラは小型で使い勝手が良く、家にも気軽に置いて鑑賞できる」と将来性を感じ、バラ苗の栽培からミニバラの鉢植えに切り替えました。

オランダでは当時から自動化した生産システムが導入されており、それが現在の農事組合法人セントラルローズナーセリー

安定した大量生産のための設備投資

オランダでは当時から自動化した生産システムが導入されており、それが現在の農事組合法人セントラルローズナーセリー



選定作業の様子

最初には日本に栽培例がなく、手探り状態失敗が続きました。それでも、オランダに毎年足を運んで現地ノウハウを吸収し、日本に合った栽培法を模索。努力が報われ、2001年11月に日本農林漁業振興会主催の農林水産祭で最高賞の天皇賞を個人で受賞しました。現在の計約2万平方メートルの広い温室を持ち、ムービング・プール・ベンチを活用することで、10〜12週間生産して出荷しています。取引先から確実に納期を守って納入してもらえ、という信頼がある。と自負し「ミニバラが売れる」と思っていたが、本当にその通りになったと胸を張ります。



整備された広大な温室に並ぶポット

「自分たちの作ったバラをプレゼントとして贈ることで多くの人に喜んでもらえる。これ以上の幸せはない」と大西さんはやりがいを実感。ミニバラで成功を取った今でも「気候の変化や労働環境の整備にも適応していかないといけない」と気を引き締めます。最近ではJAバンクからのサポートを受け、夏場の気候管理のために、ビニールハウス内に換気扇と日除けのカーテンを取り入れました。世界の情報や情勢をどう集めて活かすかが大事。脱炭素化を見据えた新たなエネルギー源の導入も考えないといけない」と語り、今後もセントラルローズの発展に向けて邁進していきます。

バラが育つ好環境の整備を徹底

生産トップで居続けるための秘訣を温室内の温度、湿度、光などの環境を整えて安定生産体制を築くこと。安定生産が取引先の信頼にもつながる。と云います。バラが育つための好環境を常に保つことを意識し、設備投資を惜しみません。中でも重要視するのが温度管理。温度を上げるだけでは不十分。大事なのは光。と云い、ナトリウムランプ3千基を取り付けました。太陽と同じ波長でオレンジ色の光を活用することで、天候に関係なく常に必要な日照量確保しています。

JA岐阜信連 JAバンク支援部
農業金融支援プロジェクトリーダー
裁善章さん



岐阜県JAバンクでは、担い手農業者等の経営の安定・成長に向けた農業所得増大事業承継・経営課題の解決策への取組みとして、資金面のサポート、相談・提案等多岐に亘り、組合員ならびに利用者これまで以上のつながりを持つことを目指しております。

具体的な取組みとしては、担い手農業者等の負担を軽減した金融サービスの提案・提供やクラウドファンディングの活用や資本充実を図るファンド活用を行っているほか、パートナーシップ協定を締結した岐阜県農業法人協会と連携し、担い手農業者向けセミナー等を開催しております。

当連合会の農業金融支援プロジェクトは、農業者の相談パートナーとして、岐阜県内7JAとともに活動しています。

本広告に関するご意見・ご感想をお聞かせください

「エコロ・スクエア」1鉢を5名様にプレゼント

どんな場所でも馴染む、ナチュラル感!環境にやさしい、木粉50%配合の樹脂を使用したエコポットです。天然素材ならではの自然な色合いが魅力的です。ミニバラ専門店のスタッフが1鉢1鉢、丁寧に植え込んでお届けします。

①郵便番号・住所 ②氏名 ③電話番号 ④紙面に関するご意見を明記して下記の方法でお申し込みください。
【はがき】〒500-8577(住所不要)岐阜新聞社 営業局「ぎふの農業人」係
※個人情報(賞品発送)において使用し、適正に管理します。※当選者の発表は、賞品の発送(翌月予定)をもってさせていただきます。

抽選で5名様にプレゼント
4/15(金) 必着



花の色は全3色



耕そう、大地と地域の未来。

ぎふの農業人の過去の記事はこちらから ▶

真心がこもった温室で大切に育てられる
可憐な「ミニバラ」

生産者のこだわりが詰まった逸品をお届けたい